

令和6年度 第1回 大阪府立堺東高等学校 学校運営協議会 議事録

令和6年7月22日(月) 午後2時～
会場：校長室

【次第】

0. 学校運営協議会委員の委嘱
1. 開会
2. 学校長挨拶
3. 学校運営協議会委員の紹介
4. 本校の現状報告と今年度の取組みについて
5. 閉会
6. 連絡事項

0. 学校運営協議会委員の委嘱

本日出席の委員の方に、校長より委嘱状の手交（委員長を西川学長に、副委員長を上川校長に依頼）
※本日欠席者2名（森委員、上川委員）には、後日、本日の資料と共に発送。

1. 開会

司会(教頭)

本日は、ご多用の中、令和6年度第1回大阪府立堺東高等学校学校運営協議会にご参加頂き、ありがとうございます。本日の資料をご確認ください。

- ①本日の次第
- ②令和6年度 学校経営計画および学校評価（両面2枚）
- ③令和6年度 本校広報戦略について（両面1枚）
- ④令和5（2023）年度 進路状況・合格者数
- ⑤PTA新聞『白堊』100号

これより、令和6年度第1回大阪府立堺東高等学校学校運営協議会を開催いたします。

2. 学校長挨拶

司会

本校校長、山本よりご挨拶申し上げます。

- ・本年4月に登美丘高校より赴任してきた山本校長より自己紹介・挨拶

3. 学校運営協議会委員の紹介

司会

今年度の学校運営協議会委員の方々の自己紹介をお願いいたします。

- ・各委員の自己紹介（今回は森委員、上川委員、教務部長は欠席）

4. 本校の現状報告と今年度の取組みについて

司会

本校教員より、本校の現状報告と今年度の取組みについてご説明いたします。

(1) 校長より

- ・令和6年度 学校経営計画および学校評価をもとに本年度の取り組み説明
- ・総合学科としての科目選択のガイダンス等の取り組み説明
- ・「ともに育つ、ともに学ぶ」を基本姿勢とした自立支援コースの取り組み説明
- ・受験者・入学希望者増に向けた広報戦略の方向性およびこれからの取り組み説明
 - 探究活動、進学を重視した生徒それぞれの時間割選択（例：看護）
 - 自立支援コースや府域の支援教育サポート校
 - 2024年4月に文部科学省からDXハイスクール指定校指定これらの特徴・魅力を、十分に伝えられるようなホームページやSNS（インスタグラム）等の充実を行う

<ご質問・ご意見>

- ・マルチメディアルーム新設に関して、どのような授業が行われますか。それは選択した生徒のみ使えるのでしょうか。あらゆる生徒が使えるような方向ではないのでしょうか。

→「マルチメディア実習」「コンピュータデザイン」の授業で、動画、CM作成といった実習を行います。残念ながら情報科の科目を選択した生徒に対する授業となります。入学するにあたって、こういった情報科の授業を選びたい、といった生徒を増やすことが大切かと思っています。また、1年生における科目選択のガイダンスも重要であると思います。生徒全員に一人一台端末としてChromebookを配布しており、全員対象の授業は、情報Iで実施します。DXにおける予算配置とは別のものとなります。

- ・めざす学校像に「多様な選択」とありますが、実際に生徒が多岐にわたる選択をしていますか。
- ・情報DXという言葉はまだあまり認知がないように思います。情報系の科目がどういう職につながるといった話をしてほしいと思います

→選択科目には受験に関係が深い科目があり、受験とは関係がうすいが「楽しい」「興味関心がむく」科目もあります。本校は進学重視の総合学科をかがけており「普通科+アルファ」の科目を選ぶことができる、といった提示をしています。科目選択のためのガイダンス機能として、生徒向け、保護者向け両方に科目選択説明会を、またさらにブース形式で個別の相談会を行っています。座学については教室数を増やすことで生徒のニーズにえています。実技については、抽選になるケースがあります。

→語学系の大学への進学を志望し、教員が心配になるほど多くの英語科目を選択した生徒もいました。これも総合学科らしいかたちであると思います。

- ・人気のある高校は、日常的に使うもの（トイレ・食堂・制服）といった環境設備に定評があります。こういった設備の充実が必要であるように思います。次に、進路実績の充実とアピール、さらに今回の説明でもあった総合学科らしさ（堺東らしさ）をうまく伝えることが重要であるように思います。

(2) 生徒指導部【北村先生】より進路実績について

- ・2023年度の進路状況・合格者数について
 - 「近場で早めに合格をきめたい」という思いが生徒・保護者にもあり、推薦入試の合格者増の傾向があるも、部活動を最後までがんばった生徒が受験勉強に間に合わない、という悩ましさがある
 - 一般企業・公務員への希望者が例年より多い
- ・現3年生は、例年より大学進学希望者のほうが多い傾向である

(3) 生活指導部【鈴木先生】

- ・懲戒となるような問題行動は、4月から0件である。
- ・遅刻は増加しており、昨年度よりも多い。関係性が深い教員が遅刻指導を行ったほうがよいのではないかと考えて指導方法を変えたが、数字としては目立った効果は見えてきていない。
- ・自転車マナーを中心とした苦情が入ってきている
- ・教員の負担を減らしながら、生徒が学校生活を過ごしやすい、といった生徒指導面の方策を考えていきたい。

(4) 教務部 代理：教頭【八倉】（教務部長が別の会議出席中のため）

- ・6月より時程を変更して、朝読を全学年一斉に実施している
■1時間目に取り組む生徒の集中力が高い、といった教員の声がある

<ご質問・ご意見>

- ・遅刻が増えているということですが、疾病やそれに近い理由で遅刻してしまう生徒はいますか。
→疾病・心理的要因を理由にした遅刻は増加しているように思います。遅刻について一律に厳しく指導する、ということが難しくなっています。また、遅刻にたいしての保護者の考え方も変わってきているように感じます。遅刻は本当にいけないことなのか、といった足元から考えなくてはいけない状況だと認識しています。
→遅刻について、生徒個々に応じた対応が必要だと思います。本校では生徒支援委員会でケース会議を行って対応しています。
- ・自立支援コース生が部活動やクラス活動で大変頑張っています。堺東高校に通わせる保護者としてたいへん嬉しく思っています。ありがとうございます。

5. 閉会

司会

以上をもちまして、令和6年度第1回大阪府立堺東高等学校学校運営協議会を終了いたします。なお、来年度の委員会については、後日改めてご連絡させていただきます。今後、ご質問・ご意見ございましたら、本校教頭までご連絡ください。

6. 連絡事項

司会

次回は、11月13日（水）午後2時を予定しております。改めて、案内をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日は、ご多用の中、ご参加頂き、ありがとうございました。